



McAfee Host Intrusion Prevention for Desktop

デスクトップとノートPCを保護する高度な脆弱性対策

主な特長

強固なセキュリティ

- ネットワーク、アプリケーション、システム実行など、すべてのレベルにIPSとゼロデイ脅威対策を実施。

コストの削減

- 強力な統合コンソールでイベント、ポリシー、エージェントを管理。配備、管理、レポート、監査にかかる時間を短縮し、コストを削減。
- エンドポイントに対するパッチの適用回数を削減。緊急性の高いパッチも減少。

コンプライアンス対応の負荷を軽減

- 簡単に使いやすいビュー、ワークフロー、イベントモニタリング、レポート機能を搭載。適切な調査とフォレンジックが可能。

システム要件

対応OS

- Microsoft Windows 10
- Microsoft Windows 8.1
- Microsoft Windows 8
- Microsoft Windows 7 SP1 (32ビット/64ビット): Business, Enterprise, Ultimate
- Microsoft Windows Embedded Standard 7 SP1 (32ビット/64ビット)

組織のデスクトップやノートPCのセキュリティを管理し、接続性を維持することは簡単なことではありません。金銭目的のサイバー犯罪が多発し、その手口も巧妙さを増しています。モバイル環境での仕事が増加し、外部から社内ネットワークに安全に接続できる環境を構築しなければなりません。また、優先度に応じてパッチのテストと配備を適切に行い、ゼロデイの脅威を未然に防ぐ必要があります。

課題

脆弱性の開示からエクスプロイトの作成までの時間が短くなっています。攻撃の方法も複雑さを増しています。ウイルス対策だけでは十分な保護ができません。すべてのエンドポイントと重要なデータを保護し、ビジネスの継続性を維持するには、このような攻撃を早期に検出して阻止するプロアクティブなセキュリティが必要です。

McAfee Host Intrusion Prevention for Desktop

Intel® Securityのエンドポイントスイートの中核であるMcAfee® Host Intrusion Prevention for Desktopは、シグネチャと動作分析による侵入検知システム (IPS)、業界で唯一の動的なステートフルファイアウォールを搭載し、業界最先端のセキュリティ技術で既知の脅威と未知のゼロデイ脅威を阻止します。McAfee Host Intrusion Prevention for Desktopでは、パッチの適用回数だけでなく緊急性の高いパッチの適用回数も少なくなるので、ビジネスの継続性と従業員の生産性を維持できます。また、データの機密性を保護し、コンプライアンスを強化できます。

動的でステートフルなデスクトップファイアウォールで高度な脅威を阻止

ルールのみを使用する従来のシステムファイアウォールと異なり、McAfee Host Intrusion Prevention for Desktopは、McAfee Global Threat Intelligence (McAfee GTI) から接続のレピュテーションをリアルタイムで取得し、攻撃が発生する前に不正なトラフィックをブロックして、ボットネット、分散型サービス拒否 (DDoS) などの高度な攻撃からデスクトップとノートPCを保護します。McAfee GTIにより、増加を続ける高度な脅威に対しても最も洗練されたセキュリティサービスが実現されます。また、社内ネットワークに接続していないノートPCとデスクトップも、アプリケーションと位置情報に対応するファイアウォールポリシーで保護します。

OS、アプリケーションに対する緊急パッチの適用回数が減少

大半のエクスプロイトは、脆弱性が開示されてから3日以内に出現しています。しかし、多くの企業では、パッチのテストからエンドポイントへの適用が完了するまでに30日ほど費やしています。McAfee Host Intrusion Prevention for Desktopを使用すると、パッチをより簡単かつ効率的に適用し、セキュリティギャップを解消できます。

データシート

- Microsoft Windows Vista (32ビット/64ビット): Business、Enterprise、Ultimate
- Microsoft Windows XP Professional (32ビット)
- Microsoft Windows XP Professional for Embedded Systems (32ビット)
- Microsoft Windows XP Embedded (32ビット)
- McAfee Host Intrusion Prevention for Desktopは、ゼロデイの 익스プロイトやパッチ未適用の脆弱性を狙う攻撃を阻止します。MicrosoftとAdobeの両方の脆弱性に対応しています。
- シグネチャを自動的に更新し、脆弱性を悪用する攻撃からエンドポイントを保護します。
- シグネチャの更新は自動的に実行され、定期的にダウンロードされます。これにより、保護状態が維持されます。

対応の仮想化プラットフォーム

- Citrix XenServer: 5.0、5.5
- Citrix XenDesktop: 3.0、4.0、7.5、7.6
- Citrix XenApp: 5.0、6.0、6.5
- Citrix Provisioning Services 6.1
- Microsoft App-V: 4.5、4.6
- Microsoft Hyper-V Server: 2008、2008 R2
- Microsoft Windows Server: 2008、Hyper-V 2008、2008 R2、2012 R2
- Microsoft VDI (バンドル)
- MED-V: 1.0、1.0 SP1
- SCVMM: 2008、2008 R2
- SCCM: 2007 SP2、2007 R2
- SCOM: 2007、2007 R2
- VMware ACE: 2.5、2.6
- VMware ESX: 3.5、4.0、5.0
- VMware ESXi 5.1
- VMware Player: 2.5、3.0、5.0
- VMware Server: 1.0、2.0
- VMware ThinApp: 4.0、4.5
- VMware vSphere 4.0
- VMware View: 3.1、4.0
- VMware Workstation: 6.5、7.0、8.0、9.0
- Windows 7のXPモード: (32ビット/64ビット)

スタートアップから保護

デスクトップやノートPCの起動直後は無防備な状態です。スタートアップ後すぐにセキュリティポリシーが有効になるわけではありません。ポリシーが施行されるまでは、エンドポイントがネットワークベースの攻撃を受けたり、セキュリティサービスが無効にされる可能性があります。McAfee Host Intrusion Prevention for Desktopは、ファイアウォールと侵入検知システム (IPS) により、システム起動時から攻撃を阻止します。

- スタートアップ時は、ファイアウォールポリシーが完全に施行されるまで送信トラフィック以外は許可しません。
- IPSポリシーが完全に施行されるまで、弊社のセキュリティサービスが無効にされないように保護します。

簡単な管理作業

大規模な組織では、複数のファイアウォールポリシーとIPSポリシーを作成し、管理しなければなりません。しかし、これは多くの時間と労力を要する作業です。McAfee Host Intrusion Prevention for DesktopのポリシーとIPSカタログを使用すると、管理作業を簡単に行うことができます。複数のファイアウォールポリシーとIPSポリシーを作成し、異なるユーザーグループに割り当てたり、必要に応じて再利用できます。

McAfee ePolicy Orchestrator[®] (McAfee ePO[™]) の集中管理コンソールにより、組織全体の保護状況をすばやく把握し、最適な保護状態を維持することができます。McAfee ePOと完全に統合されているので、管理コストを削減し、運用効率を大幅に改善できます。

主な仮想化プラットフォームとの互換性

仮想化を利用すると、コストを削減し、製品のメンテナンスを簡単に行うことができます。McAfee Host Intrusion Prevention for Desktopは、VMware、Citrix、Microsoftなど、主要な仮想化プラットフォームに対応しています。

詳細については、<http://www.mcafee.com/jp/products/host-ips-for-desktop.aspx>をご覧ください。



McAfee. Part of Intel Security.

マカフィー株式会社

東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティ西20F
TEL 03-5428-1100 (代) FAX 03-5428-1480
西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2
近鉄堂島ビル18F
TEL 06-6344-1511 (代) FAX 06-6344-1517
名古屋営業所 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-6-17
名古屋ビルディング13F
TEL 052-551-6233 (代) FAX 052-551-6236
福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8
アーク博多5F
TEL 092-287-9674 (代)

www.intelsecurity.com

Intel、Intelのロゴ、McAfeeのロゴ、ePolicy Orchestrator、McAfee ePOは、米国法人Intel CorporationまたはMcAfee, Inc.もしくは米国またはその他の国の関係会社における商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2015 McAfee, Inc. 62140ds_hips-desktop_1015